

平成 31 年度 新規事業等について

1 持続可能社会形成に向けたセミナーの開催（新規）

（1）目的

「家庭」における持続可能な行動を促すため、「社会（事業者）」や「社会（地域コミュニティ）」による家庭への働きかけを広げる。

（2）事業内容

愛知県環境学習等行動計画 2030 及び実践事例集を活用し、「家庭」での環境学習や行動を促進・支援する具体的な工夫やノウハウ等について、事業者間や地域コミュニティ間で互いに学び合える交流の機会を創出する。

① 基調講演

「行動につなげる」をテーマに、事業者の製品・サービス開発や地域コミュニティ活動に示唆を与える講演を行う。

② 実践事例集の紹介

「学びを行動につなぐサポート BOOK」を活用して、県内の優良事例を紹介する。

③ 事例発表・意見交換会

事業者編

家庭の持続可能な行動を促す製品・サービス・取組に関する先進的な事例について、SDGs など環境社会配慮に取り組む事業者等が互いに発表して、意見交換を行う。

（事業者団体との連携・協働により実施）

地域コミュニティ編

家庭の持続可能な行動を促す地域活動等に関する先進的な事例について、地域の課題解決に取り組む地域コミュニティ等が互いに発表して、意見交換を行う。

（教育委員会との連携・協働により実施）

2 中高年・シニア環境学習推進事業「あいち^{エコ}ecoティーチャー」

(1) 目的

- ・ 平成 30 年度に養成したあいち eco ティーチャーを環境学習の講師として派遣し、主に小学生を対象に環境学習を実施する。
- ・ あいち eco ティーチャーのスキルアップを図るとともに、環境調査センターに 2020 年 4 月に新しくオープンする環境学習の場で、ボランティアスタッフとして活動するための研修を行う。
- ・ 愛知県全域に持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を広めるため、「あいち eco ティーチャー」を含め、県内の環境学習講座実施者の交流を行う。

(2) 事業内容

ア 環境学習講座の実施（全体で年 10 回以上）

場所：あいち環境学習プラザ、児童館、図書館、小学校等

イ プログラム研修（年 2 回・夏及び秋頃）

あいち eco ティーチャーとしてスキルアップを図るための研修を実施

ウ 愛知県環境調査センター※における活動研修（年 3 回・2020 年 2 月～3 月頃）

愛知県環境調査センターでの活動希望者の研修を実施

※ 愛知県環境調査センター

名古屋市北区にある県の環境の調査・研究機関。現在、建替を実施しており、1 階に新たに環境学習の場が整備し、2020 年 4 月（予定）にオープン予定。

エ 環境学習講座実施者交流会（年 1 回・冬頃）

県内の環境学習講座の実施者を集め、交流会を開催

3 『知ってる？あいちのうみのコト～カッパの清吉と学ぶ「海ごみ」問題～』

「海ごみ」は、近年、国際的な会議で議題に取り上げられるなど、世界的な課題となっています。愛知県内の海岸にも多くの海ごみが漂着しており、良好な景観、地域の生態系への影響が危惧されています。

愛知県では、この「海ごみ」の問題を理解してもらい、県民一人ひとりの海ごみ削減に向けた行動につなげるため、啓発動画『知ってる？あいちのうみのコト～カッパの清吉と学ぶ「海ごみ」問題～』を作成し、インターネット配信を平成31年3月18日から開始しました。



小・中学校の授業を始め、様々な環境学習の機会に御活用ください。
(指導者用に活用の手引きやワークシートも作成しています。)

(1) 動画の配信 (WEBサイト)

あいちのうみのコト <http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/>

(※DVDの貸出もいたします。)

(2) 啓発動画の仕様

- ・ロングバージョン 約16分 (小・中学校の授業やイベントでの利用等)
- ・ショートバージョン 約5分 (インターネットでの視聴等)



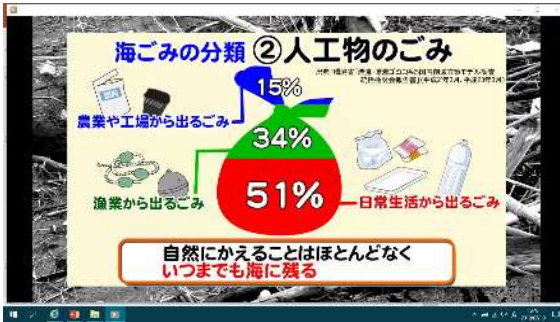
(3) 動画のあらすじ



①タイトル画面



②海ごみには自然から出るごみと人工物のごみがある



③人工物のごみは分解されずいつまでも海に残る



④海ごみは生き物や観光等への影響がある



⑤最近わかってきた問題にマイクロプラスチックがある



⑥マイクロプラスチックは有害物質を含有・吸着する恐れがある



⑦魚が誤って食べるにより有害物質を蓄積する恐れがある



⑧魚を食べることを通して人にも有害物質が入ってくる恐れがある



⑨愛知県のごみには、日常生活などから出たごみが、川などを流れてたどり着いたと思われるものも多い



⑩余計なものもらわない、ルールを守ってごみを捨てるなど、日常生活において海ごみ削減につながる取組がある

問合せ
・
申込先

愛知県 環境局 環境活動推進課 環境学習グループ

TEL 052-954-6208 平日9:00~17:00 FAX 052-954-6914

Eメール kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

環境学習講師派遣 申込書(FAX用)

1回の派遣ごとに以下を記載し、上記の申込み先までお申し込みください。追って担当者よりご連絡します。

依頼年月日	年 月 日 ()		
依頼団体名			
ご連絡先	所属		
	担当者名		
	住所		
	電話	F A X	
	Eメール		
ご希望のコース ※希望のコースに○をつけてください。 いずれも所要時間は45分程度です。(応相談)	講座 1	講座 2	講座 3
	講座 4	講座 5	
講師派遣希望時期	年 月		
講師派遣希望場所			
目的			
対象・人数	(例)小学校4年生・30名3クラス、親子(小学4年生～小学6年生)・20組		
備考			

※・ご応募いただいた方の個人情報は環境学習の実施目的以外には使用しません。

- ・あいちecoティーチャーが事前打ち合わせに伺います。
- ・講座実施に必要な資材はあいちecoティーチャーが持参いたします。
- ・プロジェクター、スクリーン、パソコン(パワーポイント)を使用する場合、お手数ですが、準備をお願いします。
- ・実施日時・場所によっては、講師を派遣できない場合があります。
- ・政治活動、宗教活動及び営利活動を目的としないもののみ講師を派遣いたします。
- ・経費については愛知県が負担いたします。回数に限りがありますのでお問い合わせください。

2019年度版

環境学習講師

「あいちecoティーチャー」を派遣します!



「環境に関する授業を外部講師にお願いしたい」
「放課後児童クラブで楽しく学べる講座をやりたい」
「環境学習講座をやりたいけど、良い講座ないかな?」
そう思ったことはありませんか?

愛知県では、2019年度から、子ども達が環境について楽しく学べる講座を行う講師「あいちecoティーチャー※」を派遣します。



対象：愛知県内の小学生以上(小学4年生以上推奨)
各回10名～40名程度

所要時間：各コース45分程度(ご相談に応じます)

派遣先：愛知県内小学校、環境学習施設、図書館、市町村講座・イベント、児童館、トワイライトスクール、子ども会、放課後児童クラブ等

費用：経費については愛知県が負担いたします
(回数に限りがあります)

※「あいちecoティーチャー」は持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を目指し、豊かな知識や経験等を若い世代につなげるために、愛知県が養成した環境学習講師です。



環境学習講座一覧



※いずれの講座も5~7名程度のグループにわかれます。

ごみのテーマ

今話題のプラスチックごみや食品ロスの問題をテーマにしています。

講座1

どこへいく? プラスチックごみの真実!



目的 プラスチックのリサイクルの流れや、プラスチックごみが海に住む生き物に与える影響を体験を通して知ることにより、プラスチックごみを減らすための行動を促します。

特徴 実際に愛知県内の海に捨てられていたプラスチックごみやマイクロプラスチックに触れることができます。

講座の流れ

導入

身のまわりでプラスチックがどのように使われているか、どのようにリサイクルされているかを学ぶ。



体験

県内の海岸で捨てられていたプラスチックごみに触れ、ごみの現状やごみが環境に与える影響を映像で知る。



ふりかえり

プラスチックごみの削減について、自分たちにできることを宣言シート「出来ますとも!宣言」に記入し発表する。



体験者の声

クイズをしながら学べるのがおもしろかったです。(小学生)

講座2

食べ物とごみのさかい目はどこ? ~ごみをなくそう大作戦!~



目的 食品ロス(食べられるのに捨てられてしまう食品)についてカードゲームで楽しく学び、普段の生活で食品ロス削減に取り組む意識を育みます。

特徴 様々な食べ物のカードや野菜の写真を使ったゲームにより楽しみながら食品ロスについて学びます。

講座の流れ

導入

普段の生活で「食べられるのに捨ててしまうもの」がどのくらいあるのかなどをクイズを通して学ぶ。



体験

様々な食材のカードを用いて、食べ物とごみのさかい目についてゲームを通じて考える。



ふりかえり

食品ロスを減らすために実践できることをエコアクション(環境に配慮した行動)シートに記入し発表する。



体験者の声

食べられる「さかいめ」を決めるゲームがおもしろかったです。(小学生保護者)

水のテーマ

水のなかでも生活に必要な水や生活排水などをテーマにしています。

講座3

きみは水なしで 生きられるか!?



目的 節水することの大切さを実感するとともに、水を無駄遣いしないために何ができるかを考え、行動につなげます。

特徴 1日に使っている水の量を示した絵巻は圧巻です。

講座の流れ

導入

地球上にある水のうち、私達が使える水の量はどのくらいか想像する。(講座3、4、5共通)



体験

普段の生活で水をどのくらい使っているかを挙げてもらい、多くの水を使っていることを体感する。水が少しか使えなかったら何に使うかグループで考える。



ふりかえり

水を節約する工夫を考え、エコアクション(環境に配慮した行動)シートに記入し発表する。



体験者の声

使える水が少ないことにおどろいた!(小学生)

講座4

見えない水を見る!? ~節水大作戦~



目的 普段どのくらいの水を使っているのかをポリタンクの数で見えてわかるように(見える化)し、水を無駄遣いしないための節水大作戦をグループで考え、行動を促します。

特徴 蛇口からぼたぼた落ちている水はどのくらい?など、普段無駄遣いしている水を見える化します。

講座の流れ

導入

地球上にある水のうち、私達が使える水の量はどのくらいか想像する。(講座3、4、5共通)



体験

普段使っている水の量や無駄遣いしている水の量を、ポリタンクを使って見える化する。



ふりかえり

節水方法を考え、宣言シート「節水大作戦」に記入し発表する。



体験者の声

水の大切さが良くわかる講座でした。(小学生保護者)

講座5

水の惑星地球を救え! ぐるぐるトルネード実験



目的 普段の生活で水を汚していることを理解します。トイレに関する実験を通して、きれいな水をいつまでも使い続けるために何ができるかを考え、行動につなげます。

特徴 トイレペーパーとティッシュペーパーを使ったぐるぐるトルネード実験は子どもたちに大人気です。

講座の流れ

導入

地球上にある水のうち、私達が使える水の量はどのくらいか想像する。(講座3、4、5共通) 普段の生活で水を汚していることや、水が循環していることなどを学ぶ。



体験

ペットボトルを使って渦を起こし、トイレにティッシュペーパーを流すとどうなるか実験する。



ふりかえり

水を大切にするために何ができるか話し合い発表する。



体験者の声

トルネード実験がたのしかった!(小学生)

※講座の流れは変更する場合があります。